

公民館だより なかがわ

第515号

令和7年10月1日
発行 中川地区公民館
TEL.Fax : 679-2501

参加者募集

【一般講座】

「フラワーアレンジメント教室」

日時：10月31日（金）10：00～12：00頃
場所：中川地区公民館 集会室
講師：つかさ花店さん
持ち物：花切はさみ、飲み物
材料費：2,000円（出展価格）
対象：中川地区民
定員：先着15名程度
締切：10月10日（金）といたしますが、
定員になり次第、受付終了となります。



昨年の作品です

※作品は、福祉村文化産業まつりへの出展をお願いいたします。展示する際の名前明記は、希望者のみとなります。

昨年の展示作品



「中川福祉村 文化産業まつり」

日時：11月1日（土）13：00～
農産物品評会・即売会、バザー
（抽選会は13：30～）
※豚汁の振る舞いもあります！
11月2日（日）8：30～
農産物即売会、バザー
（抽選会は9：00～）



場所：中川農業者等トレーニングセンター

※一般講座のフラワーアレンジ、地区民、学校、福祉施設の作品展示もあります！

※詳細は、各戸配布チラシをご覧ください！

お申し込み先：中川地区公民館（☎679-2501）

10月・11月 行事予定



10/1(水)	市報、館報 三者会、会長会、公民館運営協議会	11/1(土)	～2(日)福祉村文化産業まつり
10/5(日)	中川福祉村運動会	11/7(金)	パソコンクラブ
10/10(金)	福祉村文化産業まつり実行委員会	11/10(月)	自衛消防訓練
10/14(火)	ウォーキング教室（職員不在時間あり）	11/11(火)	粋いき倶楽部（職員不在時間あり）
10/15(水)	グラウンド・ゴルフ愛好会大会	11/14(金)	ウォーキング教室反省会
10/17(金)	パソコンクラブ	11/15(土)	主事部・体育部反省会
	中川地区地域推進会議（職員不在時間あり）	11/18(火)	そば打ち愛好会
10/21(火)	そば打ち愛好会	11/19(水)	福祉村50周年記念式典 （職員不在時間あり）
10/24(金)	粋いき倶楽部（職員不在時間あり）	11/21(金)	出前スポーツ教室「ミニフットゴルフ」
10/27(月)	子ども会育成会	11/25(火)	一般講座「初めてのフランス刺繍①」
10/31(金)	一般講座「フラワーアレンジメント教室」 市報・館報 三者会、会長会	11/26(水)	グラウンド・ゴルフ愛好会反省会
		11/28(金)	防犯協会中川支部研修会

グラウンド・ゴルフ愛好会（月曜日）
10/6、15（水）大会、20、27
詩吟教室（火曜日） 10/7、14、21

ラージピンポン愛好会（木曜日）10/2、9、16、23、30

スポーツ麻雀愛好会（木曜日）10/2、9、16、23、30

中川地区防犯診断

8月29日(金)、今年も安全で安心して暮らせる中川地区を目指し、防犯診断が行われました。今年「蔵王地区」を対象に診断日を公開して行い、自動車、バイク、自転車の施錠確認を調査しました。診断は4班体制で43台をチェックし、施錠不良1台のみという優秀な結果となりました。常日頃の心がけが大切です。今後も防犯意識を高く持ち、安心安全な住みよい蔵王地区また、中川地区にしていければと思います。



粋いき倶楽部「昔遊び交流会」



9月3日(水)、中川小学校1・2年生と中川粋いき倶楽部会員による「昔遊び交流会」が中川小学校にて開催されました。初めに、けん玉、お手玉、コマ回し、おはじきのグループに分かれ、子供たちは遊びたいところに行って会員さんたちと一緒に遊びました。教えてもらって上手にお手玉が回せるようになったり、教えてもらったやり方以外の遊び方でもおはじきを楽しんだり、なかなか乗せられないけん玉で一生懸命練習している子や巻き方が大切!とていねいにコマの紐を巻いている子・・・みんなそれぞれに楽しんでくれていたようです。後半は、会員さんと一緒に牛乳パックでブーメランを作って、体育館で飛ばしました。自分のところに戻ってくるように飛ばすのはなかなか難しかったようですが、みんな一生懸命挑戦していました。昔ながらの遊びを通してふれあうことで、会員さん、子どもたち両方のたくさんの笑顔を見ることができました♪ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



ウォーキング「成沢城跡公園」

9月9日(火)、第5回ウォーキング教室は『成沢城跡公園』に行ってきました。猛暑が続いた夏の日々から多少は解消され、心地よい秋空の下、テラポイントガイドの高瀬さんよりこの地での歩き方を教えてもらい、時には山道の草木の名前を確認しながらゆっくりとスタート!!コースの途中には、上山市内や山形市内が見える所があり、いつも見慣れている景色とは違い、新鮮な気分で眺めることが出来てとても良かったです。次に鳥居が日本最古のものの一つとして、国の重要文化財に指定されているという八幡神社へ!!どっしりと構えている石鳥居はとても素晴らしかったです。





新潟～新発田市・村上市めぐり

9月4日(木)～5日(金)、中川シニア1泊研修会が行われ、総勢20名で新潟県新発田市、村上市へ行ってきました。朝早くの集合となりましたが、皆さん元気に出発しました。バスの中でも楽しそうな話し声、笑い声が絶えまなく聞こえていました。長い移動を経て、最初は酒造リゾート五階菱へ。老舗の酒蔵で幅広い種類の日本酒が揃っていました！その後、新発田城を訪問し、ボランティアガイドさんの詳しい説明に皆さん聞き入っていました。そのまま、同じガイドさんの案内で清水園の庭園で癒されたあと、足軽長屋を見学しました。次に「花嫁人形」の作詩でも知られる、落谷虹児記念館ですばらしい作品を鑑賞し、瀬波温泉「瀬波ビューホテル」へ移動して豪華な夕食を楽しみ、1日目を終了しました。

2日目はあいにくの雨となってしまいました。最初に、岩船港鮮魚センターでたくさんお土産を購入し、ちょうど雨も止んだところで、笹川流れでの約40分のクルーズで絶景を楽しみました。その後、イヨボヤ会館で、世界で初めて鮭の自然ふ化増殖を成功させた、村上鮭文化の歴史を学び、帰路へと着きました。天候が心配されましたが、ほとんど影響なく充実した研修会となりました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



少年少女球技大会!!



9月20日(土)、中川地区子ども会育成会連絡協議会主催による「中川地区少年少女球技大会(グラウンド・ゴルフ大会)」が開催されました。ようやく暑さも落ち着き、秋空の下ゲームスタート!!緊張していた様子で1ゲーム目は、力加減に苦戦していましたが、2ゲーム目に入るとコツを掴んで楽しくできるようになり、あちらこちらで歓声が上がりました。『もうちょっと強く打っていいよ～』『この辺狙って打って～』とお互いに声を掛け合いながらプレーをしていました。『楽しかった～』『賞がもらえて良かった』とお声いただきました。お忙しい中お手伝いいただきました役員の皆様、子供たちに付き添っていただいた保護者の皆様、体育部長の加藤さん、スポーツ推進員の鈴木さん、地域づくり推進員の武田さん、最後までありがとうございました。



- | | | |
|----|----|---------|
| 男子 | 1位 | 齋藤 優斗さん |
| | 2位 | 加藤 濤さん |
| | 3位 | 齋藤 進志さん |
| 女子 | 1位 | 鏡 幸姫さん |
| | 2位 | 稲毛 心晴さん |
| | 3位 | 齋藤 七帆さん |



おらほの中川へ地域の話題シリーズ 第二百四弾

「昭和考、問わず語り（その56）」

甲石地区 高橋 正之

支那事変（日中戦争）は、昭和十二年十二月南京を陥落させたあと長期化に陥りますが、一方で政府は、国内で精神動員運動を始めとした戦時体制の強化に努めます。

本稿では、事変勃発とともに進められた戦時体制の構築状況について記述します。

〈戦争の神格化、精神動員運動の開始〉

盧溝橋事件発生一ヶ月後の八月二十四日、近衛内閣は「国民精神動員実施要綱」を閣議決定します。（昭和二年九月の全記録） 講談社刊）

昭和十二年九月十一日、日比谷公会堂で行われた国民精神動員運動の開始を記念する演説会（写真①）で、近衛文磨首相は、この戦争を「日本が真の国際正義を主張し、西洋と東洋の道徳を調和して世界歴史に貢献する機会である」と意義づけた。

この演説は、マスコミから戦争の正当性を哲学的に説明したとして好意的に評価され、以後マスコミはこの戦争を「聖戦」と呼ぶようになった。

これに先立つ八月下旬、矢内原忠雄東京帝国大学教授は、「中央公論」九月号に日中戦争を不正義な戦争だと批判する論説を載せて発禁処分を受けた。その後同様な発言を繰り返したため教授を辞任させられ、出版法・新聞紙法違反で検査された。

いすれにしても、近衛のこの演説により、日本国内では以後反戦論は一切許されないことになった。（古川隆久著「昭和史」ちくま新書）

そして、政府は、同年九月十三日「国民精神動員実施要綱」を発表、九月二十二日には「国民精神動員強調週間実施要綱」を閣議決定します。

この週間実施要綱は、国民が積極的に戦争に参加し、国家への忠誠を誓つように「社会的風潮」一新、時局二対応スル生活ノ刷新」を宣伝の中心題目と定めたものであった。

これにしたがって十月十三日から十九日までの一週間、活動が実施された。特にラジオ放送では、「国民朝礼ノ時間」が設けられたほか、「時局生活」「出動将兵へノ感謝」「非常時経済」「銃後ノ護」「神社崇拜」「勤労報国」「心身鍛錬」に関する特別番組が編

成された。

さらに十月十二日には、国民精神動員中央連盟が発足、県知事を地方実行委員長として、全国神職会、全国市町村会、在郷軍人会など七十四団体を組織して運動が推進された。

十一月三日の明治節には国民奉祝時間が設けられ、全国民が一斉に明治神宮を遙拝することになったのを始め、十一月十一日には、南京陥落を祝う提灯行列などの行事が全国的に繰り広げられた（写真②）。

精神運動は、農村に対する勤労奉仕という形でも現れ、この年には全国九割の町村で、約四百九十三万人が田植え、稲刈りなどの農作業に動員された。（昭和二年九月の全記録） 講談社刊より。写真①②も同じ。）

〈内閣情報部〉の設置、「愛国行進曲」の普及
政府は、九月二十五日には、戦争の正当性を内外に宣伝するため「内閣情報部」を設置し、同日、国家への一層の協力をうながすキャンペーンソング「愛国行進曲」を公募します。この結果、十二月十九日、現役海軍軍楽隊長で「軍艦行進曲」の作曲家である瀬戸口藤吉の曲が一等として発表され、全国にラジオで放送された。

その後、この行進曲は、レコードの販売が行われ、映画館の幕間に流したり、政府の儀式や小学校の行事の際に、参加者や生徒に歌わせ、広く普及した。（昭和二年九月の全記録） 講談社刊）

〈企画院〉の設置、統制経済へ移行
精神運動と並行して本格的な統制経済も進められた。

昭和十二年九月四日から開会された臨時帝国議会で、「輸出入品等臨時措置法」「臨時資金調整法」「軍需工業動員法」の戦時統制三法が成立し、十月には、経済統制を司る「企画院」が内閣府に設置された。

「輸出入品等臨時措置法」は、単に輸出入を統制するだけでなく、輸出入の統制を受けた物資を原料とする一切の製品を、その生産・分配・消費に至るまでを統制するものであった。また、「臨時資金調整法」は、軍需工業動員法は、軍需品生産のためにその生産力を集中できる態勢を整えるためのものであった。（昭和二年九月の全記録） 講談社刊、山形県警察史下巻より）

〈軍事費特別会計の実施〉

同年九月には、軍事費について一般会計とは別勘定とする臨時軍事費特別会計を設置し、事業終結までを一会計年度として特別に処理する措置がとられた。

この結果、昭和十二年度の歳出総合計に占める直接軍事費の割合は、三十割近くにのぼった。

〈国連が九カ国条約等違反を決議〉
昭和十二年十月六日、国際連盟総会は、日中戦争に違反し、日本の行動は九カ国条約とパリ不戦条約に違反するとの決議を採択した。十一月にベルギー・ブリュッセルで九カ国会議が開かれたが、日本は今回の問題は、日中一カ国間の問題だという理由をつけて出席しなかった。この時点で日本は九カ国条約から事実上脱退した。（昭和二年九月の全記録） 講談社刊）

（次回は、生活水準の低下、徴兵基準の引き下げなどについて記述する予定です。）



(写真①)



(写真②)